


7th ANNUAL CONCERT 1968



岡山大学男声合唱団
コール・ロータス
第7回定期演奏会

客演指揮 石丸 寛
指 揮 下野雅通
山崎泰弘

昭和43年2月3日(土)
午後6時30分

岡山市民会館

1st Stage

Missa octavi toni

作曲 Johannes Matthaeus Asola

作曲家ジョヴァンニ・マッテオ・アゾラは16世紀の終わりに活躍したイタリアの音楽家である。ヴェローナの町に生まれ、トレヴィチェンツァなどの楽長として活躍し、多数の教会音楽作品を作曲した。1609年10月1日、水の都ヴェネツィアにおいて世を去っている。

今から360年前に死んだ作曲家というわけであるが、最近わが国のアマチュア合唱団は好んで、こうした中世やルネサンス時代の音楽作品を演奏会にとりあげる傾向がある。

わたくしは、この傾向は、わが国の合唱運動がやっと地についてきた証拠の一つとして、大へん好ましい傾向と思っている。その理由は、第一に、こうした古い時代の合唱音楽こそ、ヨーロッパ音楽の源泉であり、その音楽の本性を教えてくれているからである。

第二に、この種の音楽はポリフォニーといって、各声部がそれぞれ独立して動いているから、合唱をする者にとってこれ以上楽しく、これ以上勉強になるものはないからである。

今回、岡山大学男声合唱団コール・ロータスが、この演奏会に、アゾラのミサ曲を取りあげると聞いて、わたくしは自分のことのようにうれしく思った。中国合唱界の名門コール・ロータスの学生諸君がこの地味な、しかしもっとも大切なジャンルに敢然としてぶっかってゆく態度と心意気がうれしかったのである。この演奏会の成功と、コール・ロータスの今後の順調な発展を祈ってやまない。

皆川 達夫

男声ポリフォニーのミサ曲、数少ない宗教音楽専攻の先生方の中でこの分野を研究し、実際演奏活動をしていらっしゃる方は、皆川先生をおいて他にないと云っても過言ではないでしょう。私達はこの曲に関して最初、まったく無知に等しい一般的知識しか持ってはおりませんでした。指揮者をテープ持参で東京へ派遣し、その後先生を岡山へお招きして、おいそがしいスケジュールの中、直接御指導を受ける事により宗教音楽への足がかりを得る事が出来ました。

先生はもの静かな語り口の中に真理を追求する熱意を秘めてお話をなさいます。現在日本の音楽家の最高スタッフのひとりでいらっしゃる先生に御教示いただけたのは、私達にとって本当に素晴らしい事だったと思います。

先生は1927年東京生まれ、東京大学文学部西洋史学科を卒業後、同大学大学院美学科修了、1955～1958アメリカ、ヨーロッパ留学、1962～1964ヨーロッパ（ドイツ・スイス）留学、現在立教大学助教授、東京芸大講師、日本音楽学会理事、ルネサンス、バロック音楽の解説にNHKその他で活躍なさっています。

Kyrie 主よ憐れみ給え……

Gloria 「天においては神に栄あれ」地においては善意の人に平安あれ……

Credo 我は唯一の神を信ず……

Sanctus 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな……

Benedictus 主の、名によりて来れる者は祝せられさせ給え……

Agnus Dei 世の罪を除き給う神の子羊我らを憐れみ給え……

ダンス

明星

階上 大人の社交場 ソーシャルダンス専門 レッスン 明星 ②4 6 7 1 9

階下 若さのみなぎる ダンスホール 明星 ②4 0 0 1 0

暖かくなろう！

冬の、とりわけ寒い日だった。ひどい冷たさ。重い雲をとおして陽はゆるい眼なごしを落していた。風が私のコートを叩く岡山の小さな飛行場。——つい半年前、大阪の私のところへ依頼に来たH君が若々しい笑顔で迎えてくれ、コール・ロータスとの仕事は始まったのである。

コール・ロータス、この縁もゆかりもない合唱団の指揮をたのまれて、何故私はそれを引受けてしまったのか。あわただしい東京での生活の中で東京の合唱団でさえ引受けるのが億劫なのに、何故岡山まで来ようとしたのか。私は飛行機の中で、奇妙な感慨にとらわれていた。

一昨年鹿兒島での、全日本合唱コンクールで、彼等は何かを訴えた。僅か5年の、日の浅い合唱団が、何か私の心に喰い込んできた。審査の好結果に表われた演奏の可否の問題ではない。不思議な魅力とでもいう他はないが、その幼い表現の中に私は若芽を見た。それはきっと私を引きつけていたのだ。私は審査に行っていたのだが、審査員としてではなく、私はその演奏を愛した。

そんな思いからふっと我にかえった私の前に待っていたのは、零下数度の冷たさにふるえている45人の学生だった。何が寒いのだろうか。5年という短い歴史か。人数の不足か、環境か。……音楽にはプロもアマもない。美しい音楽があるだけだ。さあ暖かくなろう。歴史も人数も環境もくそくらえだ。暖かくなろう。人間に対する愛をこめて、人間の歌を歌おう。

石丸 寛

About "Herr Ishimaru"



「音楽というものは素直に楽しむものなのです。しかしそれは楽をする事ではない。すばらしい高度の音楽を創り上げてこそ音楽を本当に楽しむ事が出来るんだ。」「歌い方に愛情が足りないよ。」

「リズムを体全体で感じて。」「棒と一緒に呼吸して下さい。歌というものは、歌っている時、その歌の感情につれて、顔が、表情が変わらないといけないんです。言葉というものがついていないオーケストラでも演奏者の表情が曲によって変わるのに。」

最初の練習の日、先生は開口一番“米語と英語の違いをあげてみて下さい”とのご質問です。外国語の歌の中でも、英語ならまだなんとかかと思っていた私達はそれでもう一度一から始めなければならぬ事を知りました。私達は英語の歌を歌うのではなく、米語の歌を歌うのです。

それから2時間あまり、私達は米語とジャズ、ビートについて講義を受けました。それはまるで大学の語学の授業のようでした。いいえキャンパスで、これほど緊張して語学の授業を受けた事があったでしょうか。とにかく黒板を背にした先生の口からは米語の words はもちろん、バックビート、8テンポ、シャッフルなどのおよそ合唱をしている者には耳慣れない単語がポンポン飛び出しました。

棒を手にとった先生は実にキビシク、妥協して私達を甘やかす事は決してなさいません。それで自信が生まれるはずもないし、ひとつとしてプラスとなる事はないからです。

出来ないところは、それがうまく表現出来るまで何度も「もう一度」です。ひとりづつ歌うようにと云われた時は皆もふるえてしまいました。何しろ客演指揮者を初めてむかえる私達、上ってしまうのは当然です。しかし練習が重なるにつれ、はじめ先生のものすごいファイトに圧倒されていた私達も序々に各自むき出しのファイトでもって練習場で、先生と対決？ するようになって来ました。「その状態こそ、指揮者として望むところなんだ。」そのような反面“題名のない音楽会”で皆様ご存知の通り、先生は大へんなダンディーでウィットナーな方です。私達もスマートネスを身につけなければと思いました。

さて私達の演奏会も7回目の定期をむかえました。ラッキーセブンという言葉がありますが、ロータスにとって初めての客演指揮者に石丸寛先生をおむかえ出来たのは、まったく幸運というほかはありません。

おいそがしいスケジュールをぬって、何度も遠く岡山へ足を運んで下さった先生にはお礼の言葉では私達の気持を表わせぬほどです。「好い演奏会にしたいいね」と先生はおっしゃいました。「もちろんです。先生、」皆さんに楽しんでいただけるスバラシイステージにしたいと一同張切って今日の日をむかえたのですから。

おいそがしいスケジュールをぬって、何度も遠く岡山へ足を運んで下さった先生にはお礼の言葉では私達の気持を表わせぬほどです。「好い演奏会にしたいいね」と先生はおっしゃいました。「もちろんです。先生、」皆さんに楽しんでいただけるスバラシイステージにしたいと一同張切って今日の日をむかえたのですから。



フリーベ

駅前店 ▲ 電話 岡山(0862) 22-4111

青江店 ▲ 電話 岡山(0862) 23-0608

医学書
看護学書

文江堂書店

岡山市中ノ町 TEL. 225511

Lotus Men Who's Who

Top Tenor 紹介

- 岡崎 富男 (府中, M6) 買ったウラミは数々か? リーダーつとめて、はや卒業。キビシイムチは愛のムチ、アンコ椿は恋の花。
- 岩城 真一 (滑川, A4) “好漢” (女性評) 男性評とは食い違う。いよいよ卒業おつかれさま。
- 小河内 健次 (呉三津田, A4) “ワジャ、ドタマにキター” 彼の広島弁ともおわかれ。
- 和田 圭司 (呉三津田, J4) “最初のうまさか持続する” 酒豪、4年間御苦労様。
- 橋口 宏 (天王寺, M3) サイフはガマガチ、司会は……………
- 今崎 哲郎 (別府鶴見丘, J3) アレ奴は? イマサッキまでいたのに。変な声でトップをませかえしている男。
- 長尾 聡 (関西, J3) 津山線の主。“発車バイ” と自動車通い。2千円の新車を買って張切っている。
- 萬田 義治 (門司, J3) 石よりカタイ、パートリーダー、曰ク「ちがうんです。公的なんです」
- 辻 正臣 (呉三津田, M3) 左手に詩集、右手にマージャンパイ。これを称してダンマリの何とか……………
- 井上 守博 (総社, JE2) 岡大“吉永小百合を護る会” 会長。
- 尾崎 重美 (香川大手前, J2) “シゲミちゃん” やさしいやさしい男の子。
- 河野 義文 (津久見, J2) “シェンシェ” 卒業するまでには必ず“先生”と言いましょ。
- 川村 雅範 (青陵, T2) 倉敷からの自動車通い。勉強とロータスをバッチリ両立。
- 末吉 俊信 (尼崎, S1) 一声“カッ”でデビュー。
- 太田 正行 (宮津, T1) 可愛い顔してヨーデル歌うこれぞ我等のゴールデンボーイ。
- 鈴木 雅 (大宇陀, L1) 音楽というものはそんなに楽しいものにゃおまへんにゃ。わての顔を見てみ。
- 黒瀬 公淑 (阪南, A1) 大阪弁で人生を語る彼の顔は楽しそう。

Second Tenor 紹介

- 山崎 泰弘 (朝日, M6) 練習中は語彙の乏しい標準語を岡山弁でカバーして「けえでええ」長年御苦労さま。
- 田中 完 (山口, L4) 音楽と法律をどう関係づけるかと迷いに迷ってやっと最近悟ったという。それはナンセンスだと。やさしい、もの静かなヒト、彼ももう卒業。
- 下野 雅通 (三原, M4) 学業にもロータスにも全てを捧げるコンダクター彼女に振られて棒を振る。
- 滝 正史 (鳥取東, M4) 人望厚き名部長、ロータス背負ってこの一年、マツゲも凍る合宿で“はやく起きろ”とようしゃなく、メクル毛布のキビシサよ、あなたは鬼かゴキブリか。
- 前田 栄 (唐津東S3) 人もうらやむ愛妻家、かわいい奥さんがいるなんて、チクショウ、いいなあ。
- 大月 洋 (淳心学院, M3) 誰よりも加賀まり子を愛するというミッションスクール出身でクリスチャンの自称、真面目な医学生。
- 高橋 英雄 (姫路東, E3) 「そやけどほんまにそれだけはこらえて」と関西弁まる出しの教育学部英語科専攻生。
- 佐賀 年之 (境, E3) 「僕の高校の先輩には司葉子がいるのよ」と鳥取は境港出身の文学青年で教育学部国語専攻生。
- 向田 一彦 (柳井, J3) 山形君とは迷コンビで練習をサボリ、ギターの伴奏にかけてはロータス一の工業化生。
- 山形 芳弘 (防府, T3) 年中、実験、試験に追いかけているという工学部工業化学学生。
- 山本 紘一 (大淀, L3) 飽きもせず所かまわず穴を掘りまくっている文学部考古学専攻生。
- 三原 博之 (操山, T2) Jazz についての見識と Feeling にかけては一等群を抜きロータス経歴3年で工学部2年という風変りな肩書きを持つパートリーダー。
- 宮城 航一 (那覇, M2) 沖縄は那覇からの医学部留学生でロータス切っのソリスト。
- 後藤 則雄 (別府鶴見丘, J1) 歓楽の都は別府出身の法科生。
- 土屋 充 (浜松西, T1) 彼女はあるのかと聞くと「無いこともない」とすまして答える工学部工業化学学生。
- 吉岡 彰 (上宮, E1) 某女声合唱団では先輩をさしおいてロータス中で一番名をはせているケッタイな大阪生れの特美生。

カトレヤ花店

岡山市磨屋町・ダイエー柳川店前

TEL 22-7015

日本ムードの純喫茶

コーヒーにアーモンド } のサービス
紅茶にブランデー }



茶房

西の丸

岡山市民会館前 TEL 22-8403

Bariton 紹介

- 黒河 達雄 (愛光, M5) 自分の声はテナーであると今も必死に主張し続けて早や5年。
 西山 正夫 (大手前, M5) レーサー並みの運転技術をみせる女嫌いな男。
 肥野藤 樹 (舟入, M5) 奇声に近い笑い声をたてては人の笑い声がおかしいとまた奇声をあげて笑う。女の子には目のないヒト。
 松尾 恵輔 (愛光, M5) Y談するにはなかなか話を合わすのが困難な程自他共に許す真面目な医学生。
 渡辺 泰宏 (操山, M5) 女性の前ではダメなヒト, チャームなボイスもふるえ気味。
 今井 隆一 (柳井, J4) ニヒルなオゾンに助けられ生まれ変わったこの俺だ…とイメージチェンジの法学生, 卒業なんてイヤ。
 木太久 襄 (下関西, A4) この人の語る話には必ず裏があると思えばよい程スペシャリスト, 別れるのはつらい。
 大下 俊則 (附属福山, M3) 地理オンチではロータス一番。最近ようやく四国の高松がどこにあるのかを悟ったという。コンパ好きなパートリーダー。
 東 良平 (高梁, M2) 練習中絶えず人さし指で空に字を描く変癖をもつ医学生。
 山中 恵 (愛光, M2) 昨年の年末岡山はグランド劇場のチャリティショーでテレビを当てたラッキーボーイ。
 山森 敏澄 (富山福野, L1) 静かな微笑。イカスなー!
 奥元 良治 (愛光, JE1) 顔に似あわず酒には絶対の強味をみせる愛光ボーイ。
 土家 裕樹 (総社, E1) ベースのゴジラとはいつかは対決する運命にあるというジャイアント。
 阿部 俊明 (矢掛, E1) 阿部ダア-ノ 純情な恥しがり屋。

Bass 紹介

- 河上 靖登 (今治北, M6) [ゴリラ] 親友の原田氏に先を越されて, あせり気味。もげに, もげて6年間御苦労さん。ワイセツがかった芸術を愛好。
 原田 知 (広島学院, M6) [ノリ平] ロータス中唯一人婚ニャク者を持つ男。集中講義で, エロチックな笑いを浮かべる名教授。お元気でね。
 川合 淳 (朝日, M5) [アジテーター] 次期ベースの親分として, 現在特訓中。短所と言えば女の子にもてないこと。ロマンス学生結婚を夢見ている。
 佐藤 俊明 (府中, A3) [ベントーヴェン] ロシア民謡が得意のベースのソリスト。彼のボリュームは2,3人の声を消してしまう程。ダンスが得意。
 足立 哲夫 (安来, A3) [センセイ] 彼は御覧の通り, お〇目出たき人。特技は睡眠中は目玉が落ちないように, しっかりと目を閉じて眠ること。曰く「もっと静かにセー」
 合田 薫 (神戸, A3) [セオリ屋] ロータス切っでの理論派。パート練習中は音程に厳しい。美しい妹さんが居るそうだが, 紹介してくれないかなあ…。曰く「音程あってるか……」
 土岐健次郎 (長田, A3) [トキ君] 彼は控え目で無口な男だが, 一口言うと, それがたちまち流行語となる。かなりの酒豪。プロポーズなんか出来ぬ男。
 三浦 雅春 (津和野, L3) [マサハルチャン] 彼はベース切っでの真面目男。かなりの勤勉家。曰く「なしてそうなるのか……」
 首藤 孝雄 (丹原, L2) [バンビちゃん] ロータス切っでの自他共に認める好男子。ベースパートを格調高く, 一糸乱れずまとめ上げている名パートリーダー。……とは自画自讃。短所は, 頭が切れすぎる。こと。
 森 晃 (倉敷青陵, M2) [ゴジラ] 自称柔道2段で, あたりかまわず部員を投げとばす手におえない男。漫画は精読, 教科書は積読。
 山田 卓夫 (東舞鶴, T2) [サンタ] なかなかの酒豪。練習にはよく出るが, 授業はよくサボる男。渉内マネでハッスル。
 和田 曉文 (別府鶴見丘, J2) [マッカラム] 彼はチョット変わったタイプの人間(頭が変なのではない)ラディカルでモダンジャズを愛好。曰く「コルトレーンなんか最高だな」
 藤本俊一郎 (丸亀, M1) [バタヤン] 「私としては田端義夫より藤山寛美に似ていると思うのだが……」
 齊藤 輝三 (矢掛, E1) [しっこ氏] しっこく行けどもサッパリダメ男, しかしデートの多い男。スシ屋の息子でスシ嫌い。

A農学部, E教育学部, J法学科, JE経済学科, L文学科, M医学部, S理学部, T工学部

階上 グリル・喫茶

寿し 峠 茶 屋

岡山市上之町電停前 TEL 220747



岡山大学入口西 TEL 52 4237